

「工事における創意工夫」

工事名 令和5年度 東駿河湾環状道路整備工事

地区名 三島地区

会社名 加和太建設株式会社

主執筆者 現場代理人 長崎 涼 技術者番号 289579

①工事概要

工事名 令和5年度 東駿河湾環状道路整備工事

発注者 国土交通省中部地方整備局沼津河川国道事務所

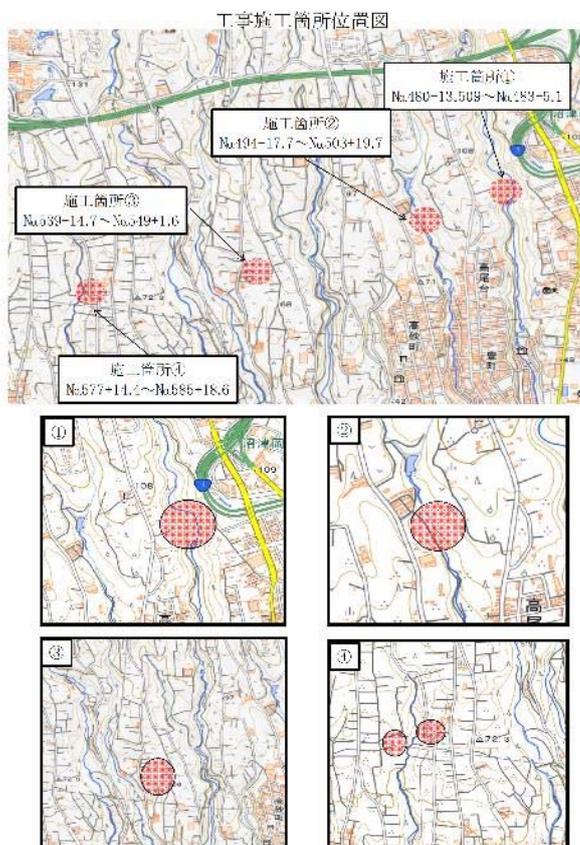
工事箇所 静岡県 沼津市岡宮～東椎路地先

工期 令和5年6月17日 ～ 令和6年1月31日

工事内容 除草工 1式、伐採工 1式、構造物撤去工 1式、仮設工 1式

②はじめに

東駿河湾環状道路（沼津市岡宮～愛鷹）は、沼津市岡宮を起点とし、同市東椎路に至る延長2.6kmの道路である。本工事は東駿河湾環状道路を施工する箇所の埋蔵文化財調査を行うための伐採及び除草工事である。



③施工の課題

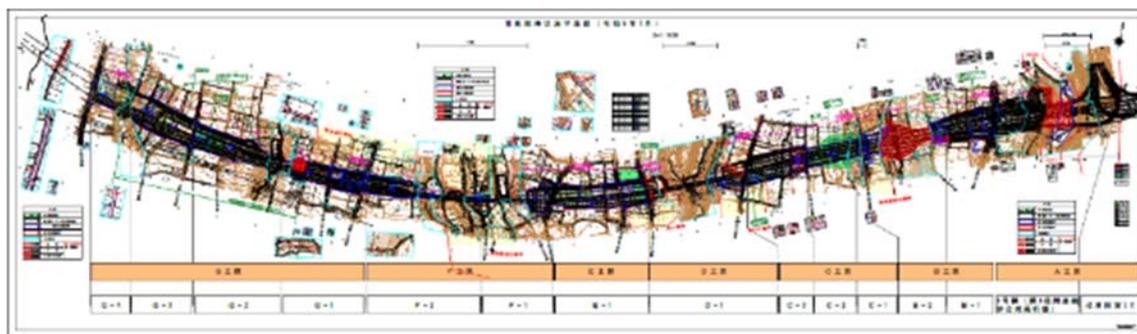
1) 狭隘な隣接道路と谷地形

本工事の施工箇所は4か所に点在している。

各所、施工箇所までの隣接道路の車道幅員が狭隘な道路であった。

また、当初平面図の等高線と現地踏査から伐採箇所までが谷地形となっていることが判明した。そのため、重機進入路の確保が必要であった。

狭隘な隣接道路では大型車両が通行困難である。また、施工箇所一帯と隣接道路周辺が「包蔵地」であるため隣接道路の拡幅や重機進入路の施工を行うには、埋蔵文化財の調査が必要となるため、着手までに時間を要することが想定できた。そのため、安全かつ能率的な施工計画の立案とともに迅速な対応が課題となった。



2) 周辺環境・地域との調和

前述のとおり施工箇所が点在しているため、各施工箇所の周辺住民への事前周知と隣接道路の利用者への配慮が必要であった。

④対応策

1) 狭隘な隣接道路と谷地形

当初の施工計画では、伐採材の運搬車両を10tダンプトラックで想定していたが、狭隘な道路と谷地形での走行が不可能であるため、各施工箇所によって以下の対応策を行った。



○不整地運搬車での搬出

施工箇所までが谷地形となっている箇所において、重機進入路の確保が必要であった。そのため、地山を掘削しながら重機進入路の確保した。また、谷底から伐採材を搬出するため、不整地運搬車両を使用し1次運搬を行った。その後、10 t ダンプトラックにて処分場まで搬出をした。

○小型車両での搬出

現地踏査の結果、付近に事業用地を確認した。各施工箇所から事業用地までの距離はL=約 2.0 km以下の位置にあった。そのため、隣接道路が狭隘な施工箇所からは小型車両にて1次運搬を行い、事業用地から処分場まで2次運搬することとした。当初の施工計画では困難であったが、上記の対応策により安全かつ能率的に施工を進めることができた。



2) 周辺環境・地域との調和

一部の施工箇所周辺には、家屋や学校が存在していたため施工前に事前周知が必要であった。また、田畑も多く存在しているため、隣接道路利用者にも周知が必要であった。

○QRコード式『現場ご意見箱』

工事箇所周辺の住民への事前周知として、平時と同様に回覧を配布するとともに、配布資料に『現場ご意見箱』と表し、QRコードを添付した。従来では現場出入口にポストを設置し手書きの用紙を投函していた。QRコードの読み取りにより、携帯端末から直接現場職員へ周知することができた。現場職員はリアルタイムに状況を把握することができるため、即時対応することができた。また、隣接道路利用者にもQRコードによる『現場ご意見箱』を利用してもらうため、現場出入口にも同様のQRコード入り工事看板を設置した。それにより、周辺住民からの要望に対し、迅速に対応することができた。



○小学校でのイベント開催

一部工事箇所周辺に、小学校が存在した。周辺地域との調和の観点から、小学生にも工事概要の説明と伐採工事への理解を深めてもらうため、小学校ご協力のもと小学5年生を対象に下記の内容でイベントを開催した。

【内容】

- 1.本工事概要と建設業について
- 2.伐採工事について知り、SDGs を考える
- 3.モノづくり体験－伐採材を使用し、オリジナルドアプレートの作成

嘗て、建設業界の黎明期などには所謂、『3K』と呼ばれるネガティブイメージはついて回り、強調されてきたが、国土交通省によって『新3K』が提唱される今、今回のイベントを通し、建設工事への理解とモノづくりの楽しさから、未来を担う小学生達に建設業の魅力を伝える良い機会となった。



昭和49年11月25日
 昭和49年11月25日
 昭和49年11月25日
 昭和49年11月25日

SDGs ドアプレート作成発表のお礼

皆さまのご参加に感謝申し上げます。ご自身の環境の理解には、本日の学習体験に多大なる貢献力があつたがき、感謝申し上げます。
 貴校は、本校5年生の小賢れのための活動提供をしてくださる、大変ありがたうございました。最後で終わっている事業やSDGsに関する動画を見ながら説明をさせて頂いておりましたが、活動やドアプレート制作の様子についてお話しし、実際に制作にも取り組まれました。
 今回の活動、建設は一つひとつのまじがらドアプレート制作で大きな意義を感じておりました。また、SDGsに関心を持っていただくこと、今までの授業で学んできたことの繋がりの大切さを、今後「おもしろいことであるSDGs」を通して理解が深まれば、学習のモチベーションもあがると思います。
 少しばかりではありますが、子供たちが思い思いに手を動かしている姿を見ることができて、心なごいことだと思っております。
 応援のたまごもたくさん、皆様のご参加とご協力に感謝申し上げます。

昭和49年11月25日
 昭和49年11月25日
 昭和49年11月25日
 昭和49年11月25日

⑤まとめ

東駿河湾環状道路周辺は未だ、放置された人工林が数多く存在し、枯木や倒木なども多い状態である。枯木や倒木ではチップ材での利用用途しかなく、昨今話題でもあるSDGs（持続可能な開発目標）では『伐採、植林、利用』の循環が重要である。しかし、現状は程遠い状態である。また、建設業界も業界の担い手が循環しておらず、同じような現状ではないかと推察する。本工事を通して、伐採工事と建設業界の今を深く理解し学ぶことができた工事であった。

